

令和7年度

岩泉町立岩泉小学校報



しずがわ

令和7年度 第9号

令和7年10月28日

文責 校長 宮本 和典

まなびフェスト(家庭の取組) 中間評価

まなびフェストに掲げられている家庭の取組項目に対する保護者による4段階評価(肯定回答の割合) <n=79>

※網掛けは目標未達成項目

1 「みずから学ぶ子ども」

No	項目	肯定回答(%)	
		R6	R7
1	家庭学習が習慣化するよう、家庭での学習環境(勉強する場所、時間、声かけ、確認等)を整えます。 ※保護者アンケートによる肯定評価80%以上	67	51
2	家庭で読書の時間をつくります。 ※保護者アンケートによる肯定評価80%以上	36	41

【保護者の方から】<○成果 ▲課題 □意見>

【1について】

- 帰宅後、すぐに宿題を終わらせてから自分の好きなことをしているので、親も子どもも幸せだ。
- 出された宿題は必ずしている。
- ▲宿題を進んでやらない。
- ▲与えられた事(宿題)だけをやればよいという考えしかなく、学習の基礎も身につけていないため、応用ができない。
- ▲声をかければやるが、自主的にはできない。
- ▲家庭学習は声をかけて促してあげないとスイッチが入らない様子だ。
- ▲自主勉強は強化週間のみ
- ▲平日は、本人のやる気次第だが、やっている。週末は「やる」と言いながら、先延ばしにすることが多い。

【2について】

- 家庭学習定着週間のときに、10分でも親子それぞれが本に触れるように設定して実行してみたら、親子で読書に触れる良さを実感できた。
- 声をかけなくても自分から読書を始めたり、家庭学習をしたりするようになった。
- ▲親が読書などの活字を読む習慣がなく、スマホをいじっている姿しか見せていないので、子どもに読書の良さを伝えられていない。
- ▲自分から進んであまり読書をしない。
- 興味のあることに関連した読み物を読書の導入にしている。それによって得られた知識や喜びが更に読書への意欲に繋がればよいと思う。

2 「思いやりのある子ども」

No	項目	肯定回答(%)	
		R6	R7
3	家庭内でも、お互いに明るい挨拶を交わし合います。 ※保護者アンケートによる肯定評価80%以上	90	92
4	自己肯定感を育むことを意識した前向きな声かけを心がけます。 ※保護者アンケートによる肯定評価80%以上	77	81

【保護者の方から】<○成果 ▲課題 □意見>

【3について】

- おはよう、おやすみ、ありがとうなど家族間でしっかり交わすようにしている。
- 誰にでも自分から挨拶し、優しい声掛けができるよう、コミュニケーションの基本となる家庭でのやり取りを重視していきたい。
- 自分から進んであいさつをするように心がけてほしい。

【4について】

- 我が子は本当に声かけで自己肯定感が変わるので、下げないよう上げる声かけを意識している。
- 良かったことは誉めるようにしている。
- 前向きな言葉掛けを家族の中でも意識するようになった。
- ▲自分の余裕がないと優しく声をかけてあげられない現状がある。

▲つい責めるような言い方をしてしまう。

▲子どもの行動を待てずに、やる気を削ぐような声かけになってしまっているときがあるため、家族間でよく話し合うがなかなか改善されない。

3 「身体をきたえる子ども」

No	項目	肯定回答(%)	
		R6	R7
5	体を動かす機会をつくり、励ましたり、見守ったりします。 ※保護者アンケートによる肯定評価80%以上	78	85
6	メディア利用について、家庭の約束を決め、守られるよう声をかけます。 ※保護者アンケートによる肯定評価80%以上	73	73

【保護者の方から】＜○成果 ▲課題 □意見＞

【5について】

○常に週末は近所の友達と遊んで身体を動かしている。

▲友達姿を見ることで、息子の体の使い方の課題を見つけるが、身体を鍛える取り組みにはつながっていない。

【6について】

○メディア利用の時間を決めており守れるように声掛けをしている。

○その都度子供に時間を決めさせている。

○最後まで諦めない気持ちをもたせるため、時間になったら声がけを心にかけている。

▲家庭の約束は前からあり、前は守っていたが、最近は気付くと時間を過ぎていくことが増えた。時々親子で約束を確認するが、継続させることが難しくなってきた。

▲家庭内のルールを決めているが、ゲームの途中でやめられない現状がある。

▲学校から帰るとすぐに YouTube。休日にも時間があればいつも見ている。やることがあってもギリギリで見続けて予定がずれていく。また、YouTube 内の情報を信じているため、考えを押し付けたり曲げなかったりすることがある。

□メディア利用は大人も難しい問題なのかなと感じる。親子で電源オフして外に出よう！みたいな取り組みも試してみたい。

学校経営に関わる評価項目について

＜数値の見方＞ 学校経営計画に掲げている項目に関する保護者による4段階評価における肯定回答の割合 <n=79>

No	項目	肯定回答(%)	
		R6	R7
1	学校は、学習や生活の様子などを学校だよりや学級通信、連絡帳などを通して伝えている。 ※保護者アンケート80%以上	92	94
2	学校は、登下校の交通安全などの安全指導を行っている。 ※保護者アンケート80%以上	88	91
3	学校は、外部の人材や環境を生かした教育活動に努めている。 ※保護者アンケート80%以上	81	89

○学校は、学習や生活の様子などを学校だよりや学級通信、連絡帳、懇談会などを通して伝えている。

学校だより、学年だより、メール配信、学校ホームページ等により、情報発信しています。また、「まなびポケット」を利用することで連絡や注意喚起等をすみやかに発信できるようにしております。併せて、連絡帳でのやりとり、懇談会、個別面談を行うことで、デジタルの移行による無機質なコミュニケーションに陥らないよう心がけております。お電話での情報共有や学校やご家庭での面談も必要とあれば行っております。

○学校は、登下校の安全などの安全指導を行っている。

危機管理マニュアルに則り、児童の安心、安全を第一に考えた安全指導を行っています。登校時における見守りは、たくさんのボランティアのお力添えで成り立っております。また、下校時につきましては、教職員の定期的な見守りを継続しております。1 学期には昨年度の反省を生かした引き渡し訓練を実施しました。台風等の災害が懸念されるこれから時期に、災害対応を確認し、いざというときに備えます。また、近年増え続ける熊出没における対応につきましましては、保護者の皆様への迅速な情報共有と児童への具体的な対応策の指導を行っています。さらに、これまでの災害対応に加え、熱中症やアレルギー対応など幅広い危機への対応について随時マニュアルの見直しを図っていきます。

○学校は外部の人材や環境を生かした教育活動に努めている。

教科学習や行事では、様々な外部人材を活用し、学習活動に励んでいます。また、昨年度から岩泉高校との交流事業を行っています。2 学期以降も、学校教育目標の達成を目指し、各学年の年間指導計画や児童の実態に応じた外部講師を招いた学習や、外部の人材や環境を生かした活動を積極的に進めています。また、今年度より地域コーディネーターと称し、地域と学校を橋渡ししてくださる担当者も2 名配置していただいております。校外学習での引率や陸上競技会でのお手伝いをさせていただきました。今後、生活科や総合学習における更なる充実が期待できます。